



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会「準備会」ニュース

「準備号」
平成20年4月15日
発行：検討委員会事務局



検討委員会「準備会」開催
★平成20年3月25日(火)19時から
★下瀬谷小学校コミュニティスクールにて

- 「準備会」の次第**
- 1 開会
 - 2 教育委員会事務局再編担当課長挨拶
 - 3 委員紹介
 - 4 議題
 - (1) 委員会の設置趣旨及び検討事項
 - (2) 委員長・副委員長について
 - (3) 委員会の運営方法について
 - 参考データ(両校の概要及び現状)
 - ※両小学校の学校運営の取り組みについて



下瀬谷小学校及び日向山小学校の小規模化という現状を踏まえ、地域の代表の方々、保護者代表の方々、学校関係者からなる「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会「準備会」を立ち上げ、運営方法等について話し合いを行いました。

次回から「第1回」検討委員会を開催します。

検討委員会の委員長・副委員長については、「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会設置要綱(裏面)に基づき、協議の結果、

委員長

要綱第4条第2項により横浜市教育長が指名し、全委員の承諾をいただきました。

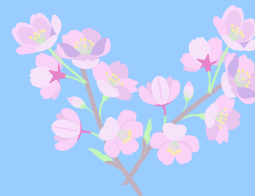
- 網代 宗四郎 瀬谷第二地区連合自治会長(南瀬谷ニュータウン自治会長)

副委員長

要綱第4条第4項をもとに互選(委員からの推薦)により、全委員の承諾のもと、次の方々に決定しました。

- 馬場 勝己 ひなた山地区自治会連絡協議会会長(ひなた山第二自治会長)
- 林 茂 南瀬谷自治連合会長(南台さくら会会長)
- 田村 順子 下瀬谷小学校PTA副会長
- 未定 日向山小保護者代表

※ なお、日向山小の保護者代表については、次回の検討委員会で決定する予定です。



検討委員会を開催するにあたり、事務局側からの「お願い」並びに「委員の代理出席」・「傍聴」について話し合いを行い、以下のように決定しました。

検討委員会の運営方法について

- 委員の方々におかれましては、各所属団体の意見を十分集約して、会議に臨んでいただきたい。
- 委員の代理出席は、原則として認める。
※代理出席の方は、委員の代理として必要な伝達を行うものとし、委員からの引き継ぎ事項以外の意見具申は控えるようにする。
- 傍聴については、認めないこととする。
※現在及び将来の学校の在り方について重要な議論を行っていく上で、傍聴者を気にして、発言が制約されないようにするため。

その他の決定事項

- 委員会の開催頻度について
概ね月1回の開催とする。
- 開催場所について
下瀬谷小コミュニティスクールと日向山小市民図書室を交互に使用する。
- 次回の検討委員会の日程について
4月25日(金)19時から日向山小市民図書室
- 役員改選があった場合について
各団体の役員改選等により委員の変更があった場合は、各小学校長に連絡することとする。
- 下瀬谷小・日向山小の学校見学について
再編統合について検討するにあたり、両校の施設状況を把握するため、昼間の時間帯で見学会を実施する。
- 過去の統合校の施設見学会について
今後、日程等について調整していく。
- 各検討委員会の議事内容について
毎回検討委員会終了後、両校の学区域内に「検討委員会ニュース」を全戸配布する。

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会設置要綱(抜粋)

平成20年3月25日制定

(設置)
第1条 横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針に基づき、下瀬谷小・日向山小の小規模校が抱える諸問題に関し、その解消及び児童の教育環境の向上について検討するため、「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(検討事項等)
第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討することとし、検討結果をまとめた意見書を、横浜市教育委員会に提出する。

- (1) 統合の時期に関すること
- (2) 統合校の設置場所に関すること
- (3) 統合校の学校名に関すること
- (4) 通学区域変更案に関すること
- (5) 通学安全要望に関すること
- (6) 統合校の教育内容に関すること
- (7) その他小規模校再編に関すること。

(委員長及び副委員長)
第4条 委員会に、委員長及び副委員長4名を置く。
2 委員長は、委員の中から教育長が指名する。
3 委員長は委員会を代表し、会務を総理する。
4 副委員長は、委員の互選によって定め、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
5 委員長は、教育委員会と協議し、委員会に必要な役職を設置することができる。



(委員の任期)
第5条 委員の任期は、第2条に規定する検討事項等について、横浜市教育委員会に意見書を提出するまでの間とする。

「下瀬谷小学校」及び「日向山小学校」の概要

1 地域の概要

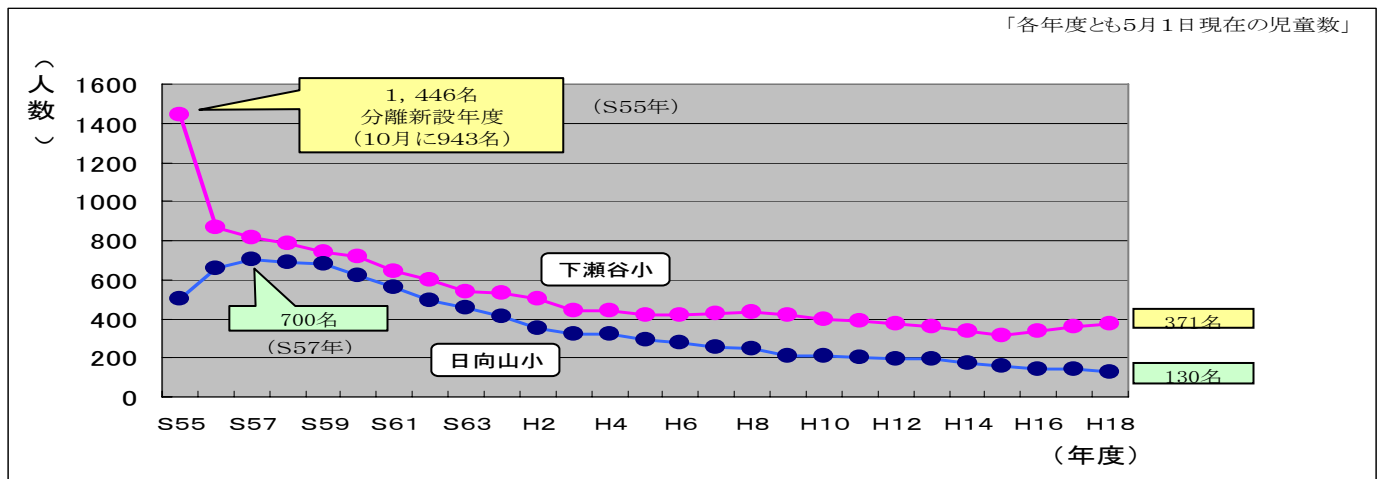
日向山小学校は、日向山土地区画整理事業に伴う「日向山住宅地」(昭和52年9月)の開発による児童数増加に対応するため、昭和55年9月に下瀬谷小学校から分離新設されました。

しかし、それぞれ昭和55年及び57年をピークに緩やかな減少傾向を続けていましたが、近年の少子化の影響もあり、平成20年度以降は両校とも小規模校となります。また、この地域は急増要因となる大規模開発等の予定もないことから、児童数の増加は見込めない状況にあります。

2 学校の開校

学校名	開校年月	備考
下瀬谷小学校	S50年 9月	創立31年 ◎南瀬谷小から分離新設
日向山小学校	S55年 9月	創立26年 ◎下瀬谷小から分離新設

3 下瀬谷小学校及び日向山小学校の児童数の推移(昭和55年度～平成18年度)



4 H19年度以降の「児童数・学級数」の推移

「個別支援学級児童は除く、平成19年度は実数値、平成20年度以降は推計値」

		H19	H20	H21	H22	H23	H24	保有教室		
		普通	個別	特別						
下瀬谷小	児童数	367	348	362	332	308	283	20	2	6
	学級数	13	11	11	11	11	10			
日向山小	児童数	135	119	115	120	108	106	10	2	8
	学級数	6	6	6	6	6	6			

下瀬谷小学校及び日向山小学校の学校運営の主な取り組み

「下瀬谷小学校」

二本の柱

1 学校に来るのが楽しみと思える子どもの環境づくり

- ※いじめや暴力行為に対しては「許さない・見逃さない」ということで取組を進めている。
- ※クラスに何かあったときには、放課後即職員が集合して事実経過を説明し、対応を講じる等情報の共有化を図っている。
- ※週1回のロング昼休みやスマイルキッズの活動を通して、低学年と高学年のふれあう活動を実施中。
- ※英語活動の実践は、4年目を迎えている。

2 学校に任せて安心と思える保護者・地域づくり

- ※地域の教育力を活かした学習は、地域と児童の合同演奏(琴、尺八、読み聞かせ等)を行っている。
- ※学校の諸活動を伝えるために「学校便り」を充実させ、「ホームページ」に公開している。
- ※児童の安全見守り活動は、「地域の方々」「保護者の方々」の協力により、現在の学援隊の隊員数が52名、19年度の活動日数が205日ではほぼ全授業日数、夏休み期間中も見回り等毎日活動を実施しており、活動人数が2,089人となっている。
- ※今年度「青パト」の導入について神奈川県遊技場協会から、青色回転灯とスピーカーをいただき、合わせて地域の方から車の御寄贈があり、下瀬谷小学校の学援隊として車を1台持っている。(登下校時の見守り活動は各自治会が協力)
- ※緊急時のメール配信を実施中。
- ※地域行事への積極的参加を行い、今年度は地域の防災訓練に学校の子どもたちも参加。



(古川校長から)

- ◆今年度再編統合の話が持ち上がり、それについてPTA役員とともに「子どもたちのため・子どもたちの未来のため」ということをキャッチフレーズに、この問題を真摯に考えている。また、PTA役員のほぼ全員が前年と同メンバーで、子どもたちを良い形で再編統合までもっていきたいという思いで、PTA役員と心をつなげて取り組んでいる。

「日向山小学校」

1 どの子どもにもどこかで活躍する場(出番)を作り出していること。

2 授業参観以外でも地域や保護者が参観できる機会が多い。

- ※ひまわり広場で地域との合同音楽会を開催している。
- ※地域と合同で作品展を毎年行っている。
- ※日向山フェスタということで生活科や総合的学習の中で発表会を行っている。

3 ひまわり班活動(1年～6年の交流)

- ※全児童の「ひまわり班活動」によって、高学年が低・中学年への思いやりを身に付ける活動を行っている。

4 子ども同士のトラブルに対する対応の早さと的確さ

- ※児童間にトラブルがあった場合には、早い段階で解消できており、現在大きな「いじめや不登校」はない。

5 防犯活動

- ※防犯活動については、地域の方々が中心となって進めていただいている。
- ※横浜市が防犯のための学援隊を立ち上げる前に、地域の方で見回り活動あるいは校内巡視活動をやっており、現在も続けている。
- ※登下校の見回りも、自治会の協力により、全児童が130名弱という中で、地域の方約100名が登録し、子どもたちの安全を見守っている。

(塙校長から)

- ◆単級の良さを活かした教育活動を行っており、良い学校のイメージを作ろうと教職員全員で取り組んでいる。
- ◆ほとんどの教職員が全児童の名前がわかるし、保護者も知っている。
- ◆学校が地域の中では唯一の人が集まれる公的施設であり、地域の方々に非常によく支えていただいている。
- ◆前の学校で、およそ600名ほど児童がいたが、当時の校長先生は全児童の名前を知っていた。大きい学校だから、あるいは小さい学校だからということは無いと思う。
- ◆先生方の努力により、大きい学校や小さい学校それぞれの良さは作れるが、子どもたちの横のつながりや、先生方の配置を考えると、ある程度の規模が必要だと考える。



～準備会での主な質問～

●(委員)

我々委員の任期は意見書を提出するまでとなっているようだが、決まり事、何年までというものはないのか。所属の役職を降りた場合は委員をやめることになるのか。

◇(回答)「事務局」

各団体の役員改選等で交代があった場合は、各学校長に連絡願います。委員の交代等について新役員の方とも相談しながら委員長と調整していきます。

●(委員)

資料の中の個別教室と特別教室の違いについて、教えていただきたい。

◇(回答)「塙校長」

個別教室というのは、個別支援のための教室です。特別教室というのは、視聴覚室・図書室等を言います。子どもたちが日常的に授業で使うところを普通教室と呼んでいます。

●(委員)

小規模校は、何学級で何名程度を言うのか。また、児童数が少ないところが統合されていくのか。通学が安全なところが統合後に使用する学校になるのかを教えてください。

◇(回答)「事務局」

横浜市教育委員会では、小規模校・適正規模校・過大規模校という分類を持っており、小規模校については小学校は11クラス以下で、中学校では8クラス以下としています。小学校で11クラス以下ですと、ある学年が単級になり、クラス替えができなくなってしまいます。

統合校の設置場所については、単に児童数が多い・少ないだけで決まるものではなく、対象校のそれぞれの教室数、校庭の広さや通学安全等を考慮しながら、ご議論いただくようになります。

●(委員)

統合するまでの期間を教えてください。

◇(回答)「事務局」

特に期間は決めておりませんが、これまでの例で申し上げますと、検討委員会の検討でほぼ1年、統合校の設置場所の校舎の改修工事及び体験学習や遠足など交流を深めながら、ハード面やソフト面等の準備に1年くらいかけておまして、通常は検討を始めたところから概ね2年程度で統合してきた経緯はあります。

●(委員)

今回下瀬谷小学校と日向山小学校の統合についての議論と言うことですが、将来的には中学校区の変更と言うことも踏まえた上で、考えた方がよいのか教えてください。

◇(回答)「事務局」

両校それぞれ違う中学校が指定校となっておりますので、検討委員会で中学校の通学区域についても、ご議論いただければと思います。

●(委員)

統合する時期が2年先ということを知りながら聞いているがどうなのか。

◇(回答)「事務局」

まだ、再編統合そのものが決まったわけではございませんので未定ということです。

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会「準備会」名簿

- 網代 宗四郎 瀬谷第二地区連合自治会長(南瀬谷ニュータウン自治会長)
- 初山 金久 下瀬谷自治会長
- 初山 静史 北新自治会長
- 寺島 尚 下瀬谷団地自治会長
- 畠山 政義 下瀬谷第三町内会長
- 林 茂 南瀬谷自治連合会長(南台さくら会会長)
- 松本 昇 上ノ原自治会長
- 馬場 勝己 ひなた山地区自治会連絡協議会会長(ひなた山第二自治会長)
- 池杉 元伸 ひなた山第一自治会長
- 長谷川 知司 ひなた山第三自治会長
- 西山 努 グリーンハイムひなた山自治会長
- 壁谷 始 ライオンズマンション相鉄いずみ野自治会長
- 相原 進 ホーユウパレスひなた山自治会長
- 市川 佐知子 瀬谷第二地区民生委員児童委員協議会会長
- 森谷 薫 南瀬谷地区主任児童委員
- 柏木 豊 瀬谷区青少年指導員連絡協議会瀬谷第二地区副会長
- 前田 清 泉区青少年指導員連絡協議会上飯田地区会長
- 千葉 瑞夫 瀬谷区体育指導委員連絡協議会瀬谷第二地区会長
- 石川 敬 泉区体育指導委員連絡協議会和泉北部地区会長

- 吉田 康義 下瀬谷小学校PTA会長
- 田村 順子 下瀬谷小学校PTA副会長
- 市川 ゆかり 下瀬谷小学校PTA副会長
- 大原 紀子 下瀬谷小学校PTA会計
- 芦澤 真由美 日向山小学校学級委員
- 西山 みさ子 日向山小学校学級委員
- 平山 恵美子 日向山小学校学級委員
- 染谷 千賀 日向山小学校学級委員
- 古川 幸子 下瀬谷小学校校長
- 塙 泰 日向山小学校校長
- 小谷 孝道 下瀬谷中学校校長
- 川口 康広 南瀬谷中学校校長



※委員については、原則として各選出団体の代表の方に依頼していますので、4月以降、各団体で代表者等の変更があった場合は、委員の方も交代となる場合があります。

【次回検討委員会日程】

- ★平成20年4月25日(金) 19時から 日向山小学校市民図書室で開催予定
- ★議題 ・横浜市が策定した基本方針の説明及び両校の学校規模並びに小規模校の課題や問題点
・これまで行ってきた他地区の再編統合状況について等

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会の経過、横浜市の基本方針等はホームページでもご覧いただけます。

- ・基本方針など <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/gakku.html>
- ・「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会 <http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/gakku/shoukibo/index.html>



「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会は、常に皆さまからのご意見をいただいております。FAXかEメールにて、事務局までご連絡ください。

- * 検討委員会事務局 *
- 横浜市教育委員会事務局 学校計画課
- FAX:045-651-1417 / Eメール:ky-keikaku@city.yokohama.jp / TEL:045-671-3253

